

(特非) 泉京・垂井

あどぼ（アドボカシー）の学校～環境政策提言力向上から環境政策実現力へ～

イベントの延べ参加者数	224人
イベント参加者の満足度	87.5%
活動の全体目標に対する達成度	40%



垂井町で空き家対策の政策提言を考える様子

◆成果と工夫したポイント

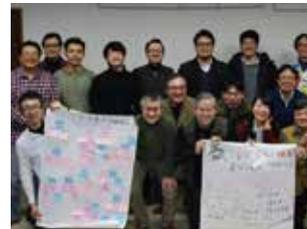
- 成果** ・次年度、あどぼの学校を兵庫、熊本の2地域で開設したいというニーズが出てきたこと。
・同志社大学プロジェクト科目に採択され、講座希望者が13名いたこと。
- 工夫** ・振り返り会を設け講座のブラッシュアップを図ったこと。
・中間、最終アンケートをとったこと。

課題

住民・NGO・NPOの間でも、環境政策などの公共政策立案の主体は自分たち自身であるという自覚に乏しく、そのことが環境政策への理解や支持を十分に得られないこと。

活動内容

- ・関西圏の各団体と協働による「あどぼの学校」実施による担い手育成事業の実施。
- ・同志社大学ソーシャル・ウェルネスセンターの協力、共催による「あどぼの学校」シンポジウムの実施。
- ・同志社大学でのプロジェクト科目採択に向けた「あどぼの学校」普及活動。



た「る」「い」各グループによる発表後の様子

今後の課題

各地域で、あどぼの学校を開設したいという話があった場合を想定した体制の確立。